

なのはな整骨院・稲毛院

金英泰

代表取締役



☎ 043-239-7092

🌐 nanohanainage.shopinfo.jp

🏠 千葉県千葉市稲毛区小仲台6-2-8

ビジョン

「～最期までじぶんらしく いきいき～ 生きるための食事・生きるための会話」をテーマにご高齢者様に口腔嚥下・身体機能向上メニューを定期訪問し提供しております。

「治療がうまくだけでは、地域医療は支えられない」。なのはな整骨院・稲毛院代表の金英泰氏は、治療家であると同時に経営者として、地域に必要とされ続ける医療のかたちを模索してきました。現在は、千葉市・船橋市・四街道市・習志野市・佐倉市・市川市・江戸川区・墨田区・北本市・川島町・さいたま市・桶川市にて、訪問鍼灸と嚥下リハビリを軸とした誤嚥予防に注力し、高齢者が「食べる・話す・生きる力」を失わずに暮らせる地域づくりに挑んでいます。金英泰代表が独立を志した背景や、なのはな整骨院が大切にしてきた想い、そして誤嚥予防を“特別なケア”ではなく“当たり前”にするための実践について、その原点と未来へのビジョンをひも解きます(2026年1月取材)。

経営者としての覚悟——訪問鍼灸と嚥下リハビリで地域医療を変える

現在、柔道整復師と鍼灸師（はり師・きゅう師）のダブルライセンスをお持ちですが、どのような経緯でこの業界を志し、資格を取得されたのでしょうか？

柔道整復師の資格に加え、鍼灸師の資格を持っています。私は技術職人として道を極めることよりも、当初から「業界の仕組み」や「経営的な視点」の方に強く興味があったんです。専門学校時代も、授業の内容そのものより「この業界の仕組みはどうなっているのか」「どうすればビジネスとして成り立つのか」といったことばかり考えていましたね。当時から少し異端児だったかもしれません。



施術よりも経営に関心があったのですね。もともと医療業界を目指されたきっかけは何だったのですか？ご自身もサッカーをされていたと伺いましたが。

私は長野県で生まれ、千葉県と一時期大阪で育ちました。サッカーをしていて怪我をした経験から医療に関心はありましたが、一番の根底にあるのは「経営者になりたい」という思いがありました。実は私の家系は父方も母方も経営者が多いんです。父の兄が浄水器の会社を立ち上げる手伝いで大阪に行ったり、叔父が飲食店やパチンコ店を経営していたり、母方もホテル経営をしていたりと、「商売人」の家系でした。そのため、会社員になるという選択肢が自分の中でリアルではなかったんです。

当初は医師を目指されていたそうですね。

はい、医師になれば独立もできると考え、三浪して医学部を目指していました。しかし、これ以上親に迷惑はかけられないと思い、開業権のある柔道整復師の道へ進むことに決めました。整骨院で日中働いて夜間に大東医学技術専門学校で学びその後鍼灸の資格も取得しました。あくまで「経営者になるための選択肢」として医療の道を選んだというのが正直なところです。

20代で独立・開業されていますが、どのような経緯だったのでしょうか？

最初は勤めていた整骨院グループで働いていたのですが、蘇我（千葉市中央区）にある店舗が3年間ずっと赤字続きで、「いい加減閉める」という話が出たんです。その時、29歳だった私が「自分にやらせてほしい」と手を挙げて店舗を譲り受けました。そこからが必死でしたね。昼休みの休憩時間を全て返上して、近隣の住宅へ一軒一軒インターホンを押して回る「飛び込み営業」を毎日行いました。とにかく顔を覚えてもらうことにとことん時間を使い、結果として3ヶ月で黒字化、半年で開業資金を全額返済することができました。



凄まじい行動力ですね。その後、現在の法人化に至るまでにはどのような変遷があったのですか？

その後、稲毛に店舗を出したり、頼まれて出した店舗を閉めたりと試行錯誤がありました。実は当時、地元のサッカーチームのトレーナー活動にも力を入れていて、最大で高校サッカー部など5チームほどにスタッフを派遣していました。しかし、スポーツトレーナーの世界は「やりがい」が中心で、地位も低く収益化が難しい構造がありました。自己満足で上の人間が席を譲らないような古い体質にも限界を感じ、「ここではスタッフに還元できない」と見切りをつけました。

そこからビジネスとしての組織づくりに舵を切ったわけですね。

そうです。サッカー事業からは撤退し、しっかりと利益を出してスタッフが安心して働ける環境を作らねばと考えました。コロナ禍の前には蘇我の店舗を閉めて稲毛と合併させるなど経営資源を集中させ、2017年に株式会社アテンドとして法人化しました。そうした中で、店舗での施術だけでなく、千葉市・船橋市・四街道市・習志野市・佐倉市・市川市・江戸川区・墨田区・北本市・川島町・さいたま市・桶川市にて施設の訪問ニーズに応える現在のスタイルへと徐々にシフトしていったのです...

漫画も掲載しています。続きはQRコードからアクセスください ↓↓↓

